

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶ 広報秘書課 ☎ 22局0138

ラオス人民共和国へのバラ栽培協力

田原市の農業専門家が、ラオスのサイタニー郡を訪問した様子をご紹介します。

● 交流のきっかけ

2005年に開催された『愛・地球博』で、参加各国と県内の市町村が交流を深めた「一市町村一国フレンドシップ」。田原市の相手国であったことが縁で、ラオスのサイタニー郡と農業分野での人づくりを目的とした交流を行っています。

● 農業協力事業～ラオスにバラを咲かせよう！～

田原市では、平成19年度から、独立行政法人国際協力機構（JICA）の協力を得ながら、ラオスでのバラ栽培実現を目指し、農業支援プロジェクトを実施しています。

昨年11月22日（月）～26日（金）に、田原市から農業専門家など3人がサイタニー郡を訪問し、現地でバラの栽



▲ 専門家によるバラ栽培指導

培指導を行いました。一行は、平成19年度に田原市の協力で建設されたサイタニー郡教育事務所も訪問し、多くのスタッフが働いている状況も確認しました。

ラオス・ヴィエンチャン特別市では、ヴィエンチャン遷都450周年記念イベントが行われるなど、街は大変なにぎわいを見せていました。



▲ 栽培試験場で咲き始めたバラ



◀ ヴィエンチャン市内の様子

人と車でにぎわう街。行き交う車の中には、日本車も多く見られる。

- ◆ 震度の大きさと被害
 - 震度0～2 屋内で静かにしている場合、揺れを感じることもある。
 - 震度3 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。
 - 震度4 眠っている人のほとんどが目覚めます。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
 - 震度5弱 大半の人が、恐怖を覚える。固定していない家具が移動することがある。

こんにちは、かんちゃんです。地震発生時に発表される震度が、どのくらい大きさを表すのか、皆さんは想像できますか。今回は震度の大きさと被害についてご紹介します。



- 震度5強 物につかまらなさと歩行困難。固定していない家具が倒れたり、補強されていないブロック塀が崩れたりすることがある。
 - 震度6弱 立っていられない。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。
 - 震度6強 はわないと動けない。固定していない家具のほとんどが倒れる。耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
 - 震度7 自分の意思で動けない。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多い。耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- ※田原市では、東海地震・東南海地震が連動して発生した場合、市内全域で震度6弱～6強の揺れが予測されています。家庭での対策を行い、地震に備えましょう。
- ▼ 防災対策課 ☎ 23局3548

かんちゃん

地震の揺れと被害

防災まめ知識

68



忍びよる巨大地震